

人間存在研究領域

平成20年度修了	Japanese National Cinema and the Role of Film Industry: A Case Study on Toho (Selected) Film Company 17世紀オランダ絵画研究—ユトレヒト、ハールレム、デルフト三都の巨匠たち—
平成21年度修了	テレビドラマを通じた異文化交流—大衆メディアによる日台間相互理解の進展— ロンドンと田園都市の夢—近現代イギリスにおける都市景観美の展開— 写真時代のフランス自然風景画家たち—コローの〈思い出〉、ルソーの〈森と夕日〉、ミレーの〈大地〉— 演劇作品『身毒丸』にみる寺山修司の演劇美学 地域社会における博物館の役割と文化産業の発展—地方型博物館とまちづくりの関係性について 楊凝式の書風に関する研究
平成22年度修了	異文化環境におけるブランドと消費者—日中消費者と企業活動— シーボルトのピアノ（現存する日本最古のピアノ） 日本舞踊 清元『北州千歳寿』における「いき」の美学 グレゴリー・ペイトソンの「精神」—思想的意義を探る—
平成23年度修了	格差社会の現状と若者の意識—日本・中国を比較して— 日本人と中国人の面子意識の比較研究 日中市民の環境意識に関する比較研究 中日の古典文学における月の美意識の比較研究—詩と和歌を中心に— 日本の美意識の解明—映画に於ける桜の考察を通して— ラファエル前派的女性像再考—ヴィクトリア朝の多面的な女性表象と「宿命の女」像— 〈生(ラ・ヴィ)〉の芸術—1920年代以降のヴラマンクを中心に ネット時代における新聞のあり方—中日地方新聞を比較する視点から— 住宅デザインの変遷と美意識の関係について 「在る」の構成図作成と検討
平成24年度修了	日中海外留学の現状及び若者の意識に関する比較研究 内モンゴル自治区地域における砂漠化問題の倫理的探究—「生業」の視点から 中国の日系企業における異文化コミュニケーション 住民の活性化に果たす公共ホールの役割に関する研究—日本近代を遡り、新たな文化ホールの有り方を探る— 中国人日本語学習の阻害要因としての同形異義語について 中国における日系企業の組織マネジメントについての考察 日中ジェンダー問題の比較文化研究 「ヒロシマ」をみつめる演劇表象—《太田川七つの流れ》の上演分析を通して— 小説の映画化における問題に対する考察—『雪国』を例として— 日中の高齢化社会の問題と若者の意識 原爆資料は何を語りうるか—遺品・証言・劇—
平成25年度修了	蘇軾の左遷時の自然美の境地—儒仏の思想の融合をめぐる— 日本と中国における女性のワーク・ライフ・バランスに関する研究—欧米との比較において— 日本とモンゴルの民族音楽に関する比較研究—江差追分とオルティンドーを焦点として— 現代女性の化粧の意味とその背景—生物学的、文化・社会的、心理学的考察と分析— 若者におけるSNSの利用実態と問題点 日中の環境保護意識の比較研究—森の文化という視点から— 資本主義社会における疎外と分割について 中国社会における格差問題と若者の意識—米国・日本と比較して— 日本のユーモアの特徴—「ユーモア」概念の導入より考察する 日本の庭園美学—枯山水を中心に
平成26年度修了	小泉八雲の日本精神論 現代日本における個人主義—欧米との比較において— 日本と台湾の相互理解と両国関係の将来—若い世代を中心に— 中国のナショナリズム—対日関係から見る— 安藤広重の《名所江戸百景》の美学的研究—絵画の時報性と伝統的感性の革新を契機として 現代デジタル複製技術の可能性—建仁寺に戻った海北友松の障壁画群を中心に 日本における外国人労働者の受入れについて—日本と韓国の支援団体の比較を通して考える 稲盛和夫の経営美学と哲学—中国への影響を見る 〈装訂家〉橋口五葉—ブック・デザインに受け継がれたラファエル前派— 20世紀画家B・ニューマンの作品における〈崇高〉〈プリミティヴ〉な神話と現代における〈恐怖〉の同他者のまなざしによる「ヒロシマ」再考—「ナガサキ」・「オキナワ」の視点から「ひろしま」へ— 中世歌論における「幽玄」の研究 懐石料理の美学に関する研究—芸術性と自然性に着目して— 感性の学としてのノスタルジア(Nostalgia)—生の記憶と時間の不可逆性— グローバリゼーションによる文化の均質化と多様化について 松園の美人画構成—浮世絵、謡曲、青眉の三要素について 現代中国の災害報道 民芸の用と美—日中比較の角度からの考察— 現代「いじめ」問題の考察について
平成27年度修了	「ワールド・ミュージック」に見るマイナー文化の価値の再発見 ギュンター・アンダースを通じた「人類」に対する考察 和菓子の美学研究—「梅」「雪」「月」「雨」という四つのモチーフを例として和菓子の芸術性を探る— The Aesthetic Experiences of Augmented Reality Artworks 拡張現実アートワークの美的体験 中国における畚族の起源神話表象について 事実報道における受容問題についての考察—情報受容における「空間的同時性」の必要性—

『源氏物語』に登場する女性の服色から見る平安時代の美意識 -「雅」と「無常」を中心に-
規範とは何か -アーキテクチャを手がかりとして-
平安時代まで浦島伝説の変容について-道教思想における影響を中心に
球体関節人形の美学的考察 -人形と彫刻の比較を通して-
鴨長明の「閑居」に見られる美意識に関する考察

平成28年度修了

能楽と崑曲の比較美学的研究-「葛城」「通小町」「牡丹亭」の演出を焦点として-
「切腹」に見る武士道の思想と表現に関する考察-日本映画第二黄金期の時代劇を対象にする
世阿弥の能楽論の美学的研究-観客の審美心理を焦点として
フロイトの芸術理論の体系的考察-『井筒』の分析を通して
雪舟山水画に関する研究-南宋と明代絵画からの影響を中心に
川端康成の「雪、雨、花」に関する雰囲気的美意識の研究-ペーメの「雰囲気的美学」に基づいて
ロジェ・カイヨワの〈幻想絵画論〉再考-シュルレアリスムとの関係をめぐって-
日本庭園に見る禅宗的美意識の研究-夢窓疎石の洪隠山枯滝石組を中心として-

平成29年度修了

茶道の美学的考察-岡倉天心の『茶の本』を通じて-
胎蔵曼荼羅についての研究-一切如来智印の視点より-
蜷川実花のファッション意匠についての考察-「KURAUDIA」×「Mika ninagawa」コレクションを中心に
江戸時代の市井文学に見る「いき」の美意識-『春色梅児誉美』を中心に-
「もののあはれを知る」の美意識に関する研究-宣長の和歌論と物語論を中心として-
日本現代アイドル文化の美学的考察-「かわいい」をキーワードに-
島根県における龍蛇信仰-修験道における龍蛇信仰と弁才天信仰からの考察
『喫茶養生記』における密教的身体論と美学的考察
謡曲に見る草木成仏思想と自然観の関わり
近代アジアにおける美育の成立-中国と日本を中心にして-